

若手能

WAKATE NOH

つぼみから花へ。

第三十五回　能楽若手研究会　大阪公演

The 35th Noh performance by young performers in Osaka

2027年

1月16日(土)

開場　正午　　開演　13:00

会場　於　大槻能楽堂

（大阪市中央区上町Ａ番７号）

演目

観世流能　三輪　山本　麗晃

観世流能　熊坂　上野　朝彦

チケット料金

自由席	前売券	3,400円
	当日券	3,700円
	学生券	1,800円

チケット発売日
令和８年10月16日(金)
AM 10:00～

※当日直前講座にご参加の方は座席指定可能。詳しくは下記講座欄にて
※身障者割引あり（事前のお問い合わせが必要です。）
※学生券は、フォーム・メール・大槻能楽堂（窓口・電話）でご購入いただけます。

チケット予約フォーム

こちらのフォームに住所、氏名、電話番号、チケット枚数を入力いただき、ご予約願います。
ご予約を承り次第、ご返信させていただきます。

※返信がない場合は、下記のアドレスまでお問い合わせください
wakatenoh@gmail.com

チケット取扱所

若手能実行委員会　TEL：090-4365-2422（平日11時～20時）
※対応に時間がかかる場合がございます。

ローソンチケット　https://l-tike.com/　Lコード：52374
※ローソンおよびミニストップ店内 Loppi 直接購入可能

e+(イープラス)　https://eplus.jp/

チケットぴあ　https://t.pia.jp/

国立文楽劇場　大阪市中央区日本橋1-12-10
※窓口販売のみ　10時～18時

大槻能楽堂事務所　https://noh-kyogen.com/ticket/
TEL：06-6761-8055
※窓口・電話受付時間：11時～16時　不定休

伝統芸能を未来につなぐ
くろごちゃんファンド（国立劇場基金）
～国立劇場基金の事業に 皆様のご支援をお願いいたします～
お問合せ先 TEL 03-3265-6719 くろごちゃんファンド 検索

大槻能楽堂 座席表

《総席数：448席》



大槻能楽堂へのアクセス

《大阪市中央区上町Ａ-７》



- 大阪メトロ谷町線・中央線「谷町四丁目」駅下車
  ⑩号出口を出て南へ約300m（⑪号出口にエレベーターあり）
- 大阪メトロ谷町線・長堀鶴見緑地線「谷町六丁目」駅下車
  ⑦号出口を出て北へ約350m（⑦号出口にエレベーターあり）
- 大阪シティバス「国立病院大阪医療センター」バス停下車、南へすぐ
  - 「大阪駅前」から62系統「住吉車庫前」行き乗車
  - 「あべの橋（天王寺公園前）」から62系統「大阪駅前」行き乗車

※大槻能楽堂に駐車場・駐輪場はございません。ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。

座席指定券付き　―若手能 当日直前講座開催―

開場：11:00／開演：11:15　参加500円 ※当日精算

本公演で主役を務める役者が演目を分かりやすく解説いたします。尚、ご参加いただいた方は、本公演の座席を指定する事ができます。講座終了後に係の者がご案内いたします。是非ご参加くださいませ。

問い合わせ
若手能実行委員会 TEL：090-4365-2422
※対応に時間がかかる場合がございます。

お能を楽しみ若手と共に学ぶ場所

大阪若手能による能楽体験の催しです。ただの体験だけではなく、能に出てくる怪談話や他流との共演など普段味わえない内容となっております。若手能楽師が考える「面白そう！楽しそう！」を詰め込んだ秘密基地で一緒に学んでみませんか？

NOH学BASE
詳しくはコチラから

各SNS
最新情報はコチラから

主催：(独)日本芸術文化振興会　後援：大阪市 大阪市教育委員会／大阪府 大阪府教育委員会

大槻能楽堂 TEL：06-6761-8055　国立能楽堂 TEL：03-3423-1331(代)　大阪若手能実行委員会 TEL：090-4365-2422

※11:00～16:00不定休　※対応に時間がかかる場合がございます。

第35回 能楽若手研究会 大阪公演 於 大槻能楽堂

令和9年1月16日（土）
午後1時始め 開場正午

観世流 能

三輪明神の里の女 山本 麗晃

三輪

玄賓僧都 喜多 雅人
所の者 善竹 隆司
大鼓 守家 由訓
小鼓 成田 奏
太鼓 中田 一葉
笛 貞光 智宣

後見 上野 雄介
後見 山本 章弘
地謡 梅田 顕崇
地謡 笠田 祐樹
地謡 上若雄一郎 齊藤 信輔
地謡 寺澤 幸祐
地謡 今村 哲朗
地謡 上田 貴弘 上野 朝彦
地謡 中 誠士

休憩十分

大蔵流 狂言

昆布売

大名 小西 玲央
昆布売 善竹 忠亮
後見 上吉川 徹

休憩十分

喜多流 独鼓

邯鄲

高林 昌司

横山奈帆子

休憩十分

観世流 能

熊坂

僧 熊坂長範 上野 朝彦
旅僧 矢野 昌平
所の者 善竹 隆平
大鼓 山本 幹汰
小鼓 久田 雄介
太鼓 中田 弘美
笛 赤井 要佑
後見 今村 哲朗
後見 上田 貴弘 山田 薫
地謡 稲本 寿弥
地謡 梅田 嶺貴
地謡 上若雄一郎 笠田 祐樹
地謡 上田 顕崇
地謡 中 誠士

附祝言

【午後4時半頃 終了予定】

観世流 能「三輪」

大和国（今の奈良県）、三輪山の麓で静かに暮らす僧・玄賓（げんぴん）。その庵には、仏に供える花や水を届けに、毎日一人の女が訪れていた。

秋も深まったある日、女は夜の寒さをしのぐため、衣を一枚分けてほしいと願い出る。玄賓から衣を受け取ると、住まいは杉を目印に尋ねてほしいと告げ、姿を消してしまう。

やがて玄賓が三輪の社へ向かうと、御神木の杉には、先ほど女に与えた衣が掛かっていた。

一枚の衣をきっかけに、人と神との出会いが描かれる物語です。

女の正体は三輪明神。神でありながら人と同じように苦しみを抱え、僧に救いを求める姿には、神と仏を結びつけて信仰した当時の人々の思いが表れています。

後半では、三輪に伝わる神と人との婚姻の物語から、天の岩戸の神話へと世界が広がり、神楽が舞われます。

里の女として現れた神が、やがて神話の世界を舞台に映し出す。その変化と、秋の夜に繰り広げられる神秘的な舞を、是非楽しんで頂ければと思います。

山本麗晃

大蔵流 狂言「昆布売」

供を連れず、自ら太刀を持って出かけた大名。道中たまたま通りかかった昆布を売る商人に声をかけ、半ば強引に同道を強いる。

脅されて無理やり太刀を持たされ、その上従者扱いされた昆布売りはやがて我慢ができなくなり、太刀を抜いて逆に大名を脅す。

命乞いをする大名に昆布売りはある条件を出すが…

商人が大名に対して優位に立つという、立場の逆転が下剋上の世相を反映している物語です。また、中世に流行した歌謡が盛り込まれており、当時の商法や市場の情景が窺える曲目となっております。

あわや命の危機になった大名は最終的にどうなってしまうのか、最後まで是非楽しんで頂ければと思います。

小西玲央

観世流 能「熊坂」

東国へ向かう旅の僧（ワキ）が途中、美濃国赤坂宿にやってくると、一人の僧（シテ）に呼び止められます。

今日はある人の命日なので弔って欲しいと頼まれ庵室に招かれますが、そこには本来あるはずの仏像や絵画が無く、代わりに大量の武具が並べられていました。

不思議に思った旅の僧が尋ねると、この辺りには山賊や夜盗が出て人を襲うため、土地の人々を助けるために備えていると説明します。夜も更け、僧が寝室に入って行くかと見ていると僧の姿は無く庵室も消え失せてしまいます。

（中入）

土地の者（アイ）にかつてこの地に大盗賊・熊坂長範がいた事を教えられ、旅の僧は先程の僧こそ長範の霊だと気付きます。

明け方近く弔っていると、薙刀を構えた長範の霊が現れ生前の物語を語り始めます。

大商人・三条吉次の一行を屈強な盗賊らと襲撃した所、牛若丸によって返り討ちに遭った様子を見せつけます。最期は一騎討ちの末命尽きた事を語り、弔いを乞い消えていくのでした。

上野朝彦